

令和7年度 評価・評定・通知表について

Ⅰ 評価・評定について

(1) 評価は絶対評価です

評価は、その生徒の到達状況の評価する「絶対評価」です。集団の中での相対的な位置付けによって評価する「相対評価」ではありません。各教科で、文部科学省が示した学習指導要領の指導目標の評価規準に照らして、生徒一人ひとり进行评估していきます。

(2) 観点別学習状況の評価が基本になります

各教科の評価は、観点別学習状況の評価を基本とします。現在実施されている学習指導要領では、「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」を3観点として具体的に設定しています。

上記の3つの観点から一人ひとり进行评估するためには、様々な評価場面（評価資料・材料）を指導（授業）の中で設定する必要があります。よって、定期考査の結果、レポートや作品の内容・発表、授業での取り組みの様子など、多面的に評価します。

そして、評価で最も大切なことは、評価場面で、教員が生徒一人ひとりにそれぞれの成果や課題を伝え、生徒が自己の課題に気付いて次の学習場面で頑張れるような評価、つまり、生徒の課題追究の支援を目指すことだと考えています。また、教員にとっては、指導を見直し、次の学習指導に生かす機会ととらえています。

2 観点別学習状況の評価・5段階評定の手順

中学校の授業は学習指導要領に準拠して行われています。もちろん、教科書は学習指導要領をもとに作られています。本校では次のような手順で評価を行っています。

(1) 「年間指導計画の作成」

学習指導要領に示す目標や内容に基づき、各教科とも年間指導計画を作ります。

(2) 「観点別評価規準の設定」

年間指導計画をもとに、単元ごとに「観点別評価規準」を設定します。

(3) 「評価方法の設定」

それぞれの「評価規準」に基づいて、どのような方法、材料、場面で評価するかを設定します。

(4) 「観点別学習状況の評価の判定」

設定した評価規準や評価方法を使って「おおむね満足できる」状況（B）か、「努力を要する」状況（C）かを判断します。次に「おおむね満足できる」状況（B）のうち、学習の程度について、高まりや深まりをもっていれば「十分満足できる」状況（A）と判断します。

(5)「5段階評価の判定」

「評価」は各教科の学習の状況を総括的に評価するものです。観点別学習状況の評価で分析的な評価を行い、5段階評価を行うときの基本的な要素とし、それぞれの観点別学習状況を総括して評価を判定します。

5段階評価は次のように示されています。

- 5:「十分満足できると判断されるもののうち、特に程度の高いもの」
 4:「十分満足できると判断されるもの」
 3:「おおむね満足できると判断されるもの」
 2:「努力を要すると判断されるもの」
 1:「一層努力を要すると判断されるもの」

3 観点別学習状況の評価・5段階評価の判定基準について

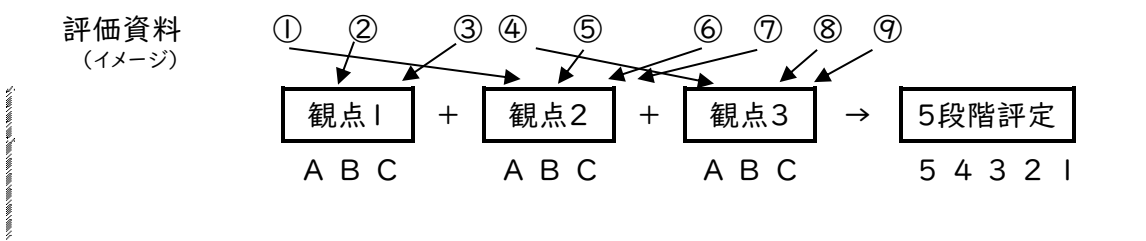
評価方法や評価場面は、各教科の特性もあり一様ではありませんが、いろいろな評価方法を使って観点別に評価を行います。それぞれの観点別学習状況の評価資料をもとに、達成度によって次のように A、B、C の3段階で評価します。

80%以上達成できている	十分満足できる A
50%以上達成できている	おおむね満足できる B
50%未満の達成である	努力を要する C

さらに、すべての評価資料をもとに、達成度によって次のように5、4、3、2、1の5段階で評価を行います。

90%以上達成できている	5:「十分満足でき、特に程度の高いもの」
80%以上達成できている	4:「十分満足できると判断されるもの」
50%以上達成できている	3:「おおむね満足できると判断されるもの」
20%以上達成できている	2:「努力を要すると判断されるもの」
20%未満の達成である	1:「一層努力を要すると判断されるもの」

評価資料から観点別学習状況と5段階評価を判定します



	観点別学習状況		5段階評定		
80%	十分満足できる	A	特に程度の高いもの	5	90%
			十分満足できる	4	80%
50%	おおむね満足できる	B	おおむね満足できる	3	50%
			努力を要する	2	20%
	努力を要する	C	一層努力を要する	1	

4 個を生かす指導の取組について

文部科学省では「努力を要する」状況（観点別学習状況で「C」、5段階評定で「1」）の生徒に対しては基礎・基本を確実に身に付けさせる観点から、適切な指導の手だてを講じる必要があるとしています。

本校では「基礎・基本の充実」のために、次のような取組を実施しています。

(1)学習ガイダンスの充実

7・12月の三者面談（3年生は7・11・12月）を利用して、それまでの学習状況をもとに学習・生活両面でのアドバイスをを行います。また、適宜面談も実施しますので、ご遠慮なく申し出てください。

(2)必修教科の充実・少人数学習指導の実施

各学年の英語・数学において2クラス3展開による少人数授業を行います。

（1年生は5クラスのため、1クラス2展開あり）

(3)夏季休業中の補習の実施

基礎的・基本的な学力を身に付けたい生徒に対して、補習的な内容の学習を行うことによって支援します。

(4)朝読書・朝学習の取り組み

1時間目の授業に向けて落ち着いた時間を過ごす、読書に親しみ読書の習慣をつける、継続して取り組む態度を養うために、月曜から金曜の5日間、8:25～8:35の10分間を朝読書・朝学習の時間として、1年間通して実施します。（水曜日に学習プリントに取り組みます。）

5 定期考査について

観点別学習状況の評価・5段階評定の資料の1つとして、定期考査があります。

- 【1学期】中間考査 5月15日(木)、16日(金)……5教科(国・数・英・社・理)
期末考査 6月24日(火)、25日(水)、26日(木)……9教科(5教科+音・美・保体・技家)
- 【2学期】中間考査 9月24日(水)、25日(木)……5教科
期末考査 11月17日(月)、18日(火)、19日(水)……9教科
- 【3学期】学年末考査 2月25日(水)、26日(木)、27日(金)……9教科

定期考査2週間前には試験範囲表を配布します。また、考査後、学習の記録を配布します。
考査後の学習の振り返りに活用してください。

6 高校入試について

都立高校の調査書では、3年1・2学期を総合して算出した評定はもとより、観点別学習状況の評価も点数化され推薦入試で使われることがあります。

私立高校の調査書では、1・2年生の評定が使われることもあります。

本校では、年に2回進路説明会を行っています。1回目は6月16日(月)です。また、入試については、9月以降に詳細が決定しますので、10月に開催予定の進路説明会などを通して説明を行ってまいります。

7 通知表について

必修教科、総合的な学習の時間についての評価・評定は、それぞれ通知表でお伝えします。保護者のみなさまは、観点別学習状況の評価及び5段階の評定をご覧になり、今後の生徒の学習の改善に生かされるよう、お子さんへの支援をお願いいたします。

(1)9教科

毎学期、観点別学習状況の評価及び5段階の評定を記載します。ただし、3学期は1年間を総合した評価・評定です。また、3年生の2学期は受験の関係もあり1・2学期(4～12月)を総合した評価・評定を記載します。

(2)総合的な学習の時間

毎学期末に、生徒の学習状況で特に頑張ったところや身に付いた力を文章で記載します。

(3)特別の教科 道徳

毎学期末に、生徒の学習状況で変容の見られたところや生徒自身で感じた変化を文章で記載します。

8 各教科の観点別学習状況の評価について

本校では、以下のような割合で、評価をしています。

教科名	観点	観点ごとの割合
国 語	知識・技能	40%
	思考・判断・表現	40%
	主体的に学習に取り組む態度	20%
社 会	知識・技能	40%
	思考・判断・表現	40%
	主体的に学習に取り組む態度	20%
数 学	知識・技能	40%
	思考・判断・表現	40%
	主体的に学習に取り組む態度	20%
理 科	知識・技能	40%
	思考・判断・表現	40%
	主体的に学習に取り組む態度	20%
音 楽	知識・技能	40%
	思考・判断・表現	40%
	主体的に学習に取り組む態度	20%
美 術	知識・技能	40%
	思考・判断・表現	40%
	主体的に学習に取り組む態度	20%
保健体育	知識・技能	40%
	思考・判断・表現	40%
	主体的に学習に取り組む態度	20%
技術・家庭	知識・技能	40%
	思考・判断・表現	40%
	主体的に学習に取り組む態度	20%
英 語	知識・技能	40%
	思考・判断・表現	40%
	主体的に学習に取り組む態度	20%

9 2の(1)「年間指導計画」と(2)「観点別評価基準」について

以下は国語科の資料です。他教科は、一中のホームページで公開しております。

令和7年度 国語科 年間指導計画

		1年	2年	3年
一 学 期	4月	一 学びをひらく 聞くということ お気に入りの一品を紹介する 桜蝶 文法の小窓1 言葉の単位	一 学びを広げる 虹の足 いろいろな立場や考えを踏まえる タオル	一 学びをいかす 春に 立ってくる春 なぜ物語が必要なのか
	5月	二 論理を知る 自分の脳を知っていますか 資料をもとに紹介文を書く 漢字の部首1 漢字の部首	文法の小窓1 活用のない自立語 新聞の投書を書く 漢字の広場1 まちがえやすい漢字	情報を確かめてスピーチをする 私 二 歴史をひらく 薔薇のボタン
	6月	言葉の小窓1 日本語の音声 構成を考えて話す 三 世界をひらく ベンチ	二 論理を捉える 日本の花火の楽しみ 水の山 富士山 課題を設定して伝える 言葉の小窓1 敬語 手紙・メールを整える 言葉と社会1 社会で求められる表現	構成を工夫して主張をまとめる メディア・リテラシーはなぜ必要か？ 新聞が伝える情報を考える 漢字の広場1 呉音・漢音・唐音 文法の小窓1 助詞のはたらき
	7月	全ては編集されている 写真で「事実」を表現する 漢字の広場2 画数と活字の字体 材料を整理して案内文を書く	三 自己をひらく 夢を跳ぶ 言葉の小窓2 話し言葉と書き言葉 相違点を明確にして書く SNSから自由になるために 脚本で動きを説明する 漢字の広場2 漢字の成り立ち 書写	三 論理を築く AIは哲学できるか 漢字の広場2 熟字訓 言葉の小窓1 和語・漢語・外来語 書写
	8月			
二 学 期	9月	四 情報を得る 持続可能な未来を創るために——人の暮らし方を考える 「エシカル」に生きよう 森には魔法つかいがある 文法の小窓2 文の成分	四 情報を捉える 持続化の名未来を創るために——不平等のない社会を考える—— 「ここにいる」を言う意味 紙の建築 構成を明確にして説明文を書く 文法の小窓2 活用のある自立語	四 関係を問う async——同期しないこと—— 問いかける言葉 説得力のある批評文を書く
	10月	根拠を明確にして意見文を書く 広告の情報を考える 五 古典にふれる 昔話と古典——箱に入った桃太郎—— 物語の始まり——竹取物語—— 故事成語——中国の名言——	五 古典を楽しむ 敦盛の最後——平家物語—— 随筆の味わい——枕草子・徒然草—— 二千五百年前からのメッセージ——孔子の言葉—— 坊っちゃん 六 短歌の味わい	文法の小窓2 助動詞のはたらき 実用文の情報を捉えて生かす 言葉の小窓2 相手に対する配慮と表現 五 古典を伝える 旅への思い 和歌の調べ ——万葉集・古今和歌集・新古今和歌集——
	11月	六 豊かに想像する 蜘蛛の糸 河童と蛙 オツベルと象 随筆を書く	夏の葬列 映像作品の表現を考える 漢字の広場3 漢字の多義性	風情と心情——漢詩を味わう—— 最後の一句 漢字の広場3 異字同訓 言葉の小窓3 慣用句・ことわざ 六 表現を吟味する 俳句の味わい 初恋
	12月	言葉の小窓2 日本語の文字 七 関係を捉える 子どもの権利 調べた内容を聞く 漢字の広場3 漢字の音と訓 書写	七 関係を考える ガイアの知性 確かな根拠をもとに意見文を書く 書写	故郷 自己PR文を書く 評価しながらスピーチを聞く 漢字の広場4 四字熟語
三 学 期	1月	八 考えを確かめる 言葉がつながる世界遺産 地域から世界へ——ものづくりで未来を変える—— 報告文を整える	八 考えと向き合う 学ぶ力 さまざまな考えを踏まえ討論をする 言葉と社会2 社会生活と言語コミュニケーション 文法の小窓3 付属語のいろいろ	七 情報を共有する 持続可能な未来を創るために ——人間の生命・存在を考える—— 生命とは何か 地球は死にかかっている 水の星 意見を共有しながら話し合う
	2月	文法の小窓3 単語のいろいろ 発言を結びつけて話し合う 漫画で「物語」を表現する 漢字の広場4 熟語の構成	九 表現を味わう 豚 走れメロス	中学校生活をまとめて作品集を作る
	3月	九 表現を捉える 四季の詩 少年の日の思い出 言葉の小窓3 方言と共通語	言葉の小窓3 類義語・対義語・多義語・同音語 「連作ショート・ショート」を書く 漢字の広場4 同音の漢字	八 未来への言葉 バースディ・ガール 青春の歌——無名性の光 やわらかな想い

令和7年度 国語科 評価の観点と評価資料

観点	観点の内容	評価資料・材料
知識・技能	社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができる。 ※語彙・文法・漢字の読み書き・発音・語句などの言葉や表現に関する学習や、古典・漢文、書写等の学習の取り組みを評価します。	・ワークシート ・定期考査 ・小テスト ・書写 ・作文 - など
思考・判断・表現	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、社会生活における人との関わりの中でコミュニケーション能力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めることができる。 ※「話すこと・聞くこと」では、話し合いやスピーチ、聞き取りテスト等の取り組みを評価します。「書くこと」では自分の考えを書いたり創作等の取り組みを評価します。「読むこと」では文章を読んで理解したことや考えたことをまとめたり、批評したりする活動等の取り組みを評価します。また、テストやプリントの評価等も加えます。	・スピーチ ・リスニング ・話し合い活動 ・グループワーク ・発表 ・定期考査 ・作文等 ・ワークシート - など
主体的に学習に取り組む態度	言葉を通じて積極的に人と関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉が持つ価値を認識しようとしているとともに、言語感覚を豊かにし、言葉を適切に使おうとしている。 ※国語に対して興味・関心を持ち、意欲を持って学習している姿勢を評価します。また、上記の知識・技能、思考・判断・表現の2観点の向上のために学習している姿勢も評価します。	・課題(提出物)の取り組み ・ワークシート ・観察 ・ワーク - など

令和7年度 社会科

1. 年間指導計画

	第1学年	第2学年	第3学年
4月	【地理的分野】 世界の姿 (地球儀と世界地図) 【歴史的分野】 歴史の流れと時代区分	【歴史的分野】 武士による全国支配の完成 【地理的分野】 身近な地域の調査	【歴史的分野】 今までの総復習 二度の世界大戦と日本 (第一次世界大など)
5月	【地理的分野】 日本の姿 (時差をとらえる・日本の位置) 【歴史的分野】 古代国会の成立と東アジア(人類の登場から文明の発生へ) ※中間考査	【歴史的分野】 天下泰平の世の中 【地理的分野】 日本の地域的特色(地形・気候) ※中間考査	【歴史的分野】 二度の世界大戦と日本 (満州事変・日中戦争など) 中間考査
6月	【地理的分野】 世界の諸地域 (人々の生活と環境) 【歴史的分野】 古代国家の成立と東アジア(人類の登場から文明の発生へ) ※期末考査	【歴史的分野】 社会の変化と幕府の対策 【地理的分野】 日本の地域的特色(資源・産業・交通) ※期末考査	【歴史的分野】 二度の世界大戦と日本 (第二次世界大など) 現代の日本と世界 (戦後日本の民主化、冷戦など) ※期末考査
7月	【地理的分野】 世界の諸地域 (アジア州) 【歴史的分野】 古代国家の成立と東アジア(東アジアの中の倭)	【歴史的分野】 欧米諸国における「近代化」① 【地理的分野】 日本の地域的特色(資源・産業・交通)	【歴史的分野】 現代の日本と世界 (世界の多極化、冷戦終結など)
9月	【地理的分野】 世界の諸地域 (ヨーロッパ州) 【歴史的分野】 古代国家の成立と東アジア(東アジアの中の倭) ※中間考査	【歴史的分野】 欧米諸国における「近代化」② 【地理的分野】 日本の諸地域(九州地方) ※中間考査	【公民的分野】 わたしたちの暮らしと現代社会 個人を尊重する日本国憲法 ※中間考査
10月	【地理的分野】 世界の諸地域 (アフリカ州) 【歴史的分野】 古代国家の成立と東アジア(中国にならった国家づくり)	【歴史的分野】 開国と幕府の終わり 【地理的分野】 日本の諸地域(中国・四国地方)	【公民的分野】 私たちの暮らしと民主政治 (国会・内閣・裁判所)
11月	【地理的分野】 世界の諸地域 (北アメリカ州) 【歴史的分野】 古代国家の成立と東アジア(中国にならった国家づくり) ※期末考査	【歴史的分野】 明治政府による「近代化」の始まり 【地理的分野】 日本の諸地域(近畿地方) ※期末考査	【公民的分野】 私たちの暮らしと民主政治 (地方自治・三権分立・経済) ※期末考査
12月	【地理的分野】 世界の諸地域 (南アメリカ州) 【歴史的分野】 古代国家の成立と東アジア(展開する天皇・貴族の政治) (武士の誕生 鎌倉時代)	【歴史的分野】 近代国家への歩み 【地理的分野】 日本の諸地域(中部地方)	【公民的分野】 私たちの暮らしと民主政治 (経済・国際社会)
1月	【地理的分野】 世界の諸地域 (オセアニア州) 【歴史的分野】 古代国家の成立と東アジア(展開する天皇・貴族の政治)	【歴史的分野】 帝国主義と日本 【地理的分野】 日本の諸地域(関東地方)	【地理・歴史・公民的分野】 3年間の総復習
2月	【地理的分野】 身近な地域 (日本の地域的特色) 【歴史的分野】 武家政権の成長と東アジア(武士の世の始まり) ※学年末考査	【歴史的分野】 アジアの列強の光と影① 【地理的分野】 日本の諸地域(東北地方) ※学年末考査	【地理・歴史・公民的分野】 3年間の総復習 ※学年末考査
3月	【地理的分野】 身近な地域 (自然災害と防災) 【歴史的分野】 武家政権の成長と東アジア(武士の世の始まり)	【歴史的分野】 アジアの列強の光と影② 【地理的分野】 日本の諸地域(北海道地方)	【地理・歴史・公民的分野】 3年間の総復習

観点	観点の内容	評価資料
知識・技能	我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係に関して理解しているとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめている。	定期考査 小テスト 課題内容（提出されたノート、課題等の内容）
思考・判断・表現	社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したり、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりしている。	定期考査 小テスト 課題内容（提出されたノート、課題等の内容）
主体的に取り組む態度	社会的事象について国家及び社会の担い手として、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとしている。	定期考査 授業・行動の観察 課題内容（提出されたノート、課題等の内容）

令和7年度 数学 年間指導計画

	第1学年	第2学年	第3学年
4月	1章 正の数・負の数(26)	1章 式の計算(12)	1章 式の展開と因数分解(19)
5月		2章 連立方程式(13)	2章 平方根(16)
6月			3章 二次方程式(13)
7月			4章 関数 $y=ax^2$ (16)
9月		3章 方程式(16)	
10月	4章 変化と対応(18)	4章 図形の調べ方(16)	5章 図形と相似(25)
11月	5章 平面図形(18)	5章 図形の性質と証明(19)	6章 円の性質(10)
12月			7章 三平方の定理(13)
1月	6章 空間図形(19)	6章 場合の数と確率(8)	8章 標本調査とデータの活用(6)
2月	7章 データの活用(12)		
3月			

令和7年度 数学 評価の観点と評価資料

観点	観点の内容	評価資料
知識・技能	数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。	・行動の観察 ・ノート・プリントの記述内容 ・小テスト ・定期考査
思考・判断・表現	数学を活用して事象を論理的に考察する力、数量や図形などの性質を見出し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養っている。	・発言の内容 ・レポート・プリント等の記述内容 ・小テスト ・定期考査
主体的に学習に取り組む態度	数学的活動の楽しさや数学の良さを実感して粘り強く考え、数学をしえ勝也学習に活かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度を養っている。	・発言の内容 ・レポート・プリント等の記述内容 ・行動の観察

令和7年度 理科 年間指導計画

	第1学年	第2学年	第3学年
4月	[生命] いろいろな生物とその共通点	[物質] 化学変化と原子・分子	[生命] 生命の連続性
5月	1章 植物の特徴と分類 2章 動物の特徴と分類	1章 物質の成り立ち 2章 物質の表し方 3章 さまざまな化学変化 4章 化学変化と物質の質量	1章 生物のふえ方と成長 2章 遺伝の規則性と遺伝子 3章 生物の種類の多様性と進化
6月			[物質] 化学変化とイオン
7月	[物質] 身のまわりの物質	[生命] 生物の体のつくりとはたらき	1章 水溶液とイオン 2章 電池とイオン 3章 酸・アルカリと塩
9月	1章 いろいろな物質とその性質 2章 いろいろな気体とその性質 3章 水溶液の性質 4章 物質のすがたとその変化	1章 生物の体をつくるもの 2章 植物の体のつくりとはたらき 3章 動物の体のつくりとはたらき 4章 動物の行動のしくみ	[エネルギー] 運動とエネルギー
10月			1章 力の合成と分解 2章 物体の運動 3章 仕事とエネルギー 4章 多様なエネルギーとその移り変わり 5章 エネルギー資源とその利用
11月	[エネルギー] 光・音・力による現象	[エネルギー] 電流とその利用	
12月	1章 光による現象 2章 音による現象 3章 力による現象	1章 電流の性質 2章 電流の正体 3章 電流と磁界	[地球] 宇宙を観る
1月			1章 宇宙の天体 2章 太陽と恒星の動き 3章 月と金星の動きと見え方
2月	[地学] 活きている地球	[地球] 地球の大気と天気の変化	[環境] 自然と人間
3月	1章 身近な大地 2章 ゆれる大地 3章 火をふく大地 4章 語る大地	1章 地球をとり巻く大気のように 2章 大気中の水の変化 3章 天気の変化と大気の動き 4章 大気の動きと日本の四季	1章 自然界のつり合い 2章 さまざまな物質の利用と人間 3章 科学技術の発展 4章 人間と環境 5章 持続可能な社会をめざして

令和7年度 理科 評価の観点と評価資料

観点	観点の内容	評価資料
知識・技能	自然の事物・現象についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	・行動の観察 ・レポートの記述内容 ・パフォーマンステスト ・小テスト ・定期考査
思考・判断・表現	自然の事物・現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。	・レポートの記述内容 ・小テスト ・定期考査
主体的に学習に取り組む態度	自然の事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	・レポートの記述内容 ・行動の観察

令和7年度 音楽 年間指導計画

	第1学年	第2学年	第3学年
4月	＜歌唱＞ 発声練習 校歌・指揮法 合唱曲	＜歌唱＞ 発声練習 校歌・指揮法 夏の思い出、合唱曲	＜歌唱＞ 発声練習 校歌・指揮法 花、合唱曲
5月	＜鑑賞＞ 春	＜鑑賞＞ 交響曲第5番ハ短調	＜鑑賞＞ ブルタバ
6月	＜歌唱・鑑賞＞ 合唱曲 音楽理論	＜歌唱・鑑賞＞ 合唱曲 音楽理論	＜歌唱・鑑賞＞ 合唱曲 音楽理論
7月	＜歌唱＞ 合唱コンクール曲	＜歌唱＞ 合唱コンクール曲	＜歌唱＞ 合唱コンクール曲
9月	＜歌唱＞ 合唱コンクール曲	＜歌唱＞ 合唱コンクール曲	＜歌唱＞ 合唱コンクール曲
10月	＜歌唱＞ 合唱コンクール曲 ＜鑑賞＞ 魔王	＜歌唱＞ 合唱コンクール曲 ＜鑑賞＞ フーガト短調	＜歌唱＞ 合唱コンクール曲 ＜鑑賞＞ 音楽史
11月	＜歌唱＞ 日本歌曲「赤とんぼ」 ＜鑑賞＞ 日本の伝統音楽・箏曲	＜歌唱＞ イタリア歌曲「サンタルチア」 ＜鑑賞＞ オペラ	＜歌唱＞ 卒業式歌 ＜鑑賞＞ 日本の伝統音楽・能と狂言
12月	＜歌唱＞ 卒業式歌 ＜鑑賞＞ アジアの諸民族の音楽	＜歌唱＞ 卒業式歌 ＜鑑賞＞ 日本の伝統音楽・歌舞伎	＜歌唱＞ 卒業式歌 ＜鑑賞＞ ポピュラー音楽
1月	＜器楽＞ 箏 鍵盤楽器	＜器楽＞ 箏 鍵盤楽器	＜器楽＞ 箏 鍵盤楽器
2月	＜創作＞ 鍵盤楽器 学習用端末・創作	＜創作＞ 鍵盤楽器 学習用端末・創作	＜創作＞ 鍵盤楽器 学習用端末・創作 著作権
3月	＜歌唱＞ 卒業式歌	＜歌唱＞ 卒業式歌	＜歌唱＞ 卒業式歌

評価の観点	観点の内容	評価資料
知識・技能	曲想と音楽の構造などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。 創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、表現している。	・授業観察 ・定期考査 ・ワークシート ・実技テスト
思考・判断・表現	音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて思いや意図をもって表現している。 音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聴いている。	・授業観察 ・定期考査 ・ワークシート ・実技テスト
主体的に学習に取り組む態度	音や音楽、音楽文化に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に表現及び鑑賞の活動に取り組もうとしている。	・授業観察 ・定期考査 (振り返り) ・ワークシート ・実技テスト

令和7年度 美術科 年間指導計画

		1年	2年	3年
一学期	4月	[オリエンテーション] ・美術の授業について知る ・持ち物やルールの確認を行う	[模写クイズ] ・資料集から1作品を模写する ・班員の模写を見て、資料集から元の作品を探す過程で様々な作品に触れる	[模写クイズ] ・資料集から1作品を模写する ・班員の模写を見て、資料集から元の作品を探す過程で様々な作品に触れる
	5月	[鉛筆デッサン] ・鉛筆のグラデーションを練習する ・物の形の捉え方や陰影のつけ方を学ぶ ・体操靴をよく観察し写実的に描く	[鑑賞] ・西洋美術(ルネサンス)の作品について学ぶ	[和の連続模様] ・琳派について学び、連続模様について学ぶ ・連続模様の法則を学び、自身の作品を制作する
	6月	[色の学習] ・色彩の基礎知識を学ぶ ・絵の具の基本的な使い方を習得する ・色料の三原色を用いて色相環を塗る	[一点透視図法の世界] ・遠近法について学ぶ ・一点透視図法の描き方を習得する ・一点透視図法を用いて部屋や景色を描く	[鑑賞] ・修学旅行に向けて、仏像のルーツについて学ぶ
	7月	[レタリング] ・明朝体とゴシック体の特徴を学び、実際に書く練習をする ・文字のもつ意味を視覚的な形で表し、見る人に強い印象を与える文字をデザインする	[モダンテクニック] ・これからの制作に取り入れられるよう、様々なモダンテクニックを学ぶ	
二学期	9月	[模写クイズ] ・資料集から1作品を模写する ・班員の模写を見て、資料集から元の作品を探す過程で様々な作品に触れる	[模写クイズ] ・資料集から1作品を模写する ・班員の模写を見て、資料集から元の作品を探す過程で様々な作品に触れる	[模写クイズ] ・資料集から1作品を模写する ・班員の模写を見て、資料集から元の作品を探す過程で様々な作品に触れる
	10月		[鍋敷きをつくろう] ・木彫作品である鍋敷きを制作する ・実用的なデザインを考え、木彫を行う	[篆刻(印面)] ・名前の篆書体を用いたデザインを考える ・考えたデザインを高麗石に刻する
	11月	[動きのある彫刻] ・人間の骨格をよく観察し、針金で心棒をつくる ・針金の芯に石塑粘土を塑像する		[鉛筆デッサン] ・物の形の捉え方や陰影のつけ方を学ぶ ・身近なものをよく観察し写実的に描く
	12月			
三学期	1月	[模写クイズ] ・資料集から1作品を模写する ・班員の模写を見て、資料集から元の作品を探す過程で様々な作品に触れる	[鎌倉の大仏について知る] ・鎌倉の大仏の意味や作られた理由などを学び、校外学習の資料を制作する	[模写クイズ] ・資料集から1作品を模写する ・班員の模写を見て、資料集から元の作品を探す過程で様々な作品に触れる
	2月	[マークのデザイン] ・身近なマークからデザインについて学ぶ ・自分の名前と特徴を組み合わせ、意味や願いを込めたマークをデザインする	[ゴッホの自画像] ・ゴッホの人生について学び、その背景を意識しながら作品を鑑賞する ・ゴッホの表現技法を体感しながら、自分と向かい合い自画像に落とし込む	[自分自身を見つめる] ・中学校最後の作品として、自分の顔を観察し、自画像を行う
	3月	[モダンテクニック] ・モダンテクニックの技法について学ぶ ・代表的な技法を実践する		

令和7年度 美術科 評価の観点と評価資料

観点	観点の内容	評価資料
知識・技能	・ 対象や事象を捉える造形的な視点について理解している ・ 表現方法を創意工夫し、創造的に表している	・ 作品 ・ 技能の練習プリント ・ 振り返りシート ・ 定期考査
思考・判断・表現	・ 造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考えるとともに、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている	・ 作品 ・ アイデアスケッチ ・ 振り返りシート ・ 定期考査
主体的に学習に取り組む態度	・ 美術の創造活動の喜びを味わい主体的に表現及び鑑賞の幅広い学習活動に取り組もうとしている	・ 授業への取り組み ・ 振り返りシート

令和7年度 保健体育科 年間指導計画

天候や授業場所工事等の関係により
一部順番が変更になる場合があります。

	第1学年		第2学年		第3学年	
4月	・体づくり運動（3） ・陸上競技（3）	・健康な生活と疾病の予防 ・心身の機能の発達と心の健康	・体づくり運動（3） ・陸上競技（3）	・健康な生活と疾病の予防 ・傷害の防止	・体づくり運動（3） ・陸上競技（3）	・健康な生活と疾病の予防 ・健康と環境
5月	・体づくり運動（2） ・陸上競技（4） ・体育理論（3）		・体づくり運動（2） ・陸上競技（4） ・体育理論（3）		・体づくり運動（2） ・陸上競技（4） ・体育理論（3）	
6月	・陸上競技（2） ・体づくり運動（2） ・水泳（6）		・陸上競技（2） ・体づくり運動（2） ・水泳（4）		・陸上競技（2） ・体づくり運動（2） ・水泳（4）	
7月	・水泳（8）		・水泳（8）		・水泳（8）	
9月	・球技（ベースボール型）（8） ・器械運動（1）		・球技（ベースボール型）（8） ・器械運動（1）		・球技（ベースボール型）（8） ・器械運動（1）	
10月	・器械運動（7） ・陸上競技（5）		・器械運動（7） ・陸上競技（5）		・器械運動（7） ・陸上競技（5）	
11月	・陸上競技（4） ・球技（ネット型）（5）		・陸上競技（4） ・球技（ネット型）		・陸上競技（4） ・球技（ネット型）（5）	
12月	・球技（ネット型）（3） ・武道、ダンス（2）		・球技（ネット型） ・武道、ダンス（3）		・球技（ネット型）（4） ・武道、ダンス（3）	
1月	・武道、ダンス（5） ・球技（ゴール型①）		・武道、ダンス（4） ・球技（ゴール型①）		・武道、ダンス（4） ・球技（ゴール型①）	
2月	・球技（ゴール型①） ・球技（ゴール型②）		・球技（ゴール型①） ・球技（ゴール型②）		・球技（ゴール型①） ・球技（ゴール型②）	
3月	・球技（ゴール型②）（6）		・球技（ゴール型②）（6）		・球技（ゴール型②）（6）	

令和7年度 保健体育科 評価の観点と評価資料

観点	観点の内容	評価資料(材料)
知識・技能	・各運動(種目)の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などを理解する。 ・各運動の効果や運動することの意義、運動の原則などについて、理解できる。 ・各種目の基本的な技能や動きを身につけたり、実践したりすることができる。	☐ 実技テスト／計測結果 ☐ 学習カード等の提出物 ☐ 定期考査 など
思考・判断・表現	・運動の特性を踏まえて動きや技などの改善についてのポイントを発見したり、健康・安全についての自己や仲間の取り組み方などの課題を発見することができる。 ・運動の行い方や練習の仕方、健康・安全の確保の仕方、運動の継続の仕方など、学習した運動に関わる一般原則や運動に伴う事故の防止などの知識や技能を、課題に応じて学習場面に適用したり、応用したりすることができる。 ・自己や仲間の課題について思考し、判断したことを、言葉や文章及び動作などで表したり、仲間や教師に伝えたりすることができる。	☐ 振り返りカード、レポート等の提出物 ☐ 授業への取り組み状況観察(話し合い活動・教え合い・状況判断等) ☐ 定期考査 など
主体的に学習に取り組む態度	・運動やスポーツとの多様な関わり方を、場面に応じて選択し、実践できる。 ・自他の健康・安全に気を配ったり、仲間の学習を援助したりして、主体的・協働的に活動することができる。 ・運動を適切に行うことによって、自己の状況に応じて体力の向上を図ることができる。	☐ 授業への取り組み状況観察(課題の提出状況、出欠状況等) ☐ 学習カード等の提出物

令和7年度 技術科 年間指導計画

1 年

月	単 元 名
4	材料と加工の技術 ・生活や社会を支える材料と加工の技術 ・製図 情報の技術 ・情報モラル
5	
6	
7	
9	材料と加工の技術 ・生活や社会を支える材料と加工の技術 ・材料の加工 ・これからの社会の発展と材料と加工の技術の在り方
10	
11	
12	
1	情報の技術 ・生活や社会を支える情報の技術
2	
3	

2 年

月	単 元 名
4	生物育成の技術 ・生活や社会を支える生物育成の技術 ・作物の栽培 （気候や天候等に合わせて適切な時季に実施する） ・これからの社会の発展と生物育成の技術の在り方 材料と加工の技術 ・生活や社会を支える材料と加工の技術 ・材料の加工
5	
6	
7	
9	情報の技術 ・ネットワークを利用した双方向性のあるコンテンツのプログラミング ・計測・制御のプログラミング ・これからの社会の発展と情報の技術の在り方
10	
11	
12	
1	エネルギー変換の技術 ・生活や社会を支えるエネルギー変換の技術 ・エネルギー変換の技術による問題解決
2	
3	

3 年

月	単 元 名
4	エネルギー変換の技術 ・生活や社会を支えるエネルギー変換の技術 ・エネルギー変換の技術による問題解決 ・これからの社会の発展とエネルギー変換の技術の在り方
5	
6	
7	
9	
10	
11	
12	
1	
2	
3	

令和7年度 技術科 評価の観点と評価資料

観 点	観 点 の 内 容	評 価 資 料
知識・技能	- 生活や社会で利用されている材料，加工，生物育成，エネルギー変換及び情報の技術についての基礎的な理解を図るとともに，それらに係る技能を身に付けている。 - 技術と生活や社会，環境との関わりについて理解を深めている。	- 定期考査 - 作品や課題 - 授業観察
思考・判断・表現	生活や社会の中から技術に関わる問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，製作図等に表現し，試作等を通じて具体化し，実践を評価・改善するなど，課題を解決できる。	- 定期考査 - 作品や課題 - 学習の振り返りの記録 - 授業観察
主体的に学習に取り組む態度	よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて，適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとしている。	- 作品や課題 - 学習の振り返りの記録 - 授業観察

令和7年度 年間指導計画 家庭科

	1 年	2 年	3 年
4	・ ガイダンス	・ ガイダンス	・ ガイダンス
5	・ 持続可能な社会を目指して	衣生活と自立	家族・家庭と地域
	・ 自立と共生	・ 衣服の働き	・ 中学生としての自立
	食事の役割と栄養の特徴	・ 目的に応じた着用	・ 家庭生活と自立
6	・ 食事の役割	・ 既製服の選択と購入	
	・ 栄養素の種類と働き	・ 衣服の手入れ	幼児の生活と自立
	中学生に必要な栄養を満たす食事	生活を豊かにするために	・ 幼いころの振り返り
7	・ 献立の立て方	・ 布を用いた作品の製作	・ 幼児の体の発達
			・ 幼児の心の発達
			・ 幼児の食生活（調理実習）
9	調理のための食品の選択と購入	・ 布を用いた作品の製作	・ 幼児の生活習慣
	・ 食品の選択と購入		・ 幼児の生活と遊び
10	・ 生鮮食品、加工食品の特徴	住生活の自立	・ 子どもにとっての家族
	・ 食品の表示、食品添加物	・ 住まいの役割と働き	
	・ 食品の保存と食中毒の防止	・ 家庭内事故を防ぐ住まい方	家庭生活と地域との関り
11	日常食の調理と食文化	・ 災害に備えた住まい方	・ 家族との関わり
	・ 生活の課題と実践	・ 健康で快適な室内環境	・ 家族や地域の高齢者との関わり
	・ 作品制作		・ 地域での協働を目指して
12	・ 日本の食文化と和食の調理	・ 持続可能な住生活を目指して	
1	調理と食文化	消費生活と環境	生活の課題と実践
	・ 日常食の調理	・ 消費者としての自覚	・ ライフステージに即した住生活の提案
2	・ 持続可能な食生活を目指して	・ 販売方法と支払方法	
	・ 野菜・いもの調理	・ 商品の選択と購入	
	・ 肉の調理（調理実習）	・ 消費者トラブルを解決する方法	
	・ 魚の調理（調理実習）	・ 消費者の権利と責任	
3	・ 1年間の振り返り	・ 持続可能な社会を目指して	・ 持続可能な社会を目指して
		・ SDG s 行動宣言	・ 3年間の振り返り
		・ 1年間の振り返り	

令和7年度 家庭科 評価の観点と評価資料

観 点	評価の内容	評価資料
知識 技能	・ 家族・家庭の機能について理解を深め、家族・家庭・衣食住・消費や環境などについて、生活の自立に必要な基礎的な理解を測るとともにそれらに係る技能を身に付けている。	・ 定期考査 ・ 授業の記録表 ・ 調理実習レポート ・ 作品や課題
思考 判断 表現	・ 家族、家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなど、これからの生活を展望して課題を解決できる。	・ 授業記録表 ・ 被服実習計画表 ・ 調理実習レポート ・ 作品や課題
主体的に学習に取り組む態度	・ 自分と家族、家庭生活と地域との関わりを考え、家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造しようとしている。	・ 授業記録表 ・ 被服実習記録表 ・ 調理実習レポート ・ 作品や課題

令和7年度 英語科 年間指導計画

	第1学年	第2学年	第3学年
4月	文字と音/英文の並べ方 英和辞書の使い方	未来を表す表現の復習	現在完了形の復習
5月	be動詞 am・are /一般動詞 疑問詞 what・how many	接続詞when/if/that	現在完了進行形／help＋A＋動詞の原形
6月	助動詞 can/be動詞 is 疑問詞 when/Let's/命令文/いろいろな疑問詞	to不定詞 スピーチ「My Dream」	受け身形
7月	一般動詞の過去形/疑問詞where 疑問詞 who/What am I?クイズ	There is/are～. 動名詞	旅行プランの提案
9月	3人称単数現在形 疑問詞 whose/人称代名詞	SVOO SVOC	後置修飾(現在分詞、過去分詞)
10月	現在進行形 疑問詞which	比較級/最上級/同等比較	関係代名詞(主格)／want 人 to～ ラジオCM
11月	冠詞/一般動詞の過去形	人気のあるもの調査	関係代名詞(目的格)
12月	理想のロボット 長文読解	tell＋A＋that…前置詞	仮定法、仮定法過去if/I wish ～.
1月	be動詞の過去形/過去進行形 look＋A/思い出に残ったできごと	現在完了形(完了用法・経験用法)	間接疑問文
2月	未来表現(will / be going to) 英語芝居	好きなもの×観光マップ	10年後の自分へのメッセージ 長文読解
3月	物語文読解	物語文読解	卒業に向けての活動

令和7年度 英語 評価の観点と評価資料

観点	観点の内容	評価資料
知識・技能	・英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。 ・実際のコミュニケーションにおいて、日常的话题や社会的な話題について、はっきりと話された文章や短く書かれた文章の内容を捉える技能を身に付けている。 ・事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて伝え合う技能を身に付けている。	・ペーパーテスト(小テスト、定期考査等) ・パフォーマンステスト ・ワークシート等
思考・判断・表現	・コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的话题や社会的な話題について、はっきりと話された文章や短く書かれた文章の必要な情報や概要、要点を捉えている。 ・事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて伝え合っている。	・ペーパーテスト(小テスト、定期考査等) ・パフォーマンステスト ・ワークシート等
主体的に学習に取り組む態度	・外国語の背景にある文化に対する理解を深め、話し手に配慮しながら、主体的に英語で話されたり書かれたりすることを、聞いたり読んだりしようとしている。 ・主体的に英語を用いて伝え合おうとしている。	・ノートやワークシート等における記述 ・パフォーマンステスト ・授業中の発言 ・教師による行動観察